



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijishu/wuzakkou/index.htm>

言葉にして、伝えることの大切さ

「ブラインドサッカーは、感覚を研ぎ澄ませ、声や音、仲間を信じる気持ちを頼りにプレーするスポーツです。」

2月13日（金）に1年生の総合の時間で、日本ブラインドサッカー協会(JBFA)の方と現役選手の方をお招きして、体験型ダイバーシティ教育事業「スポ育」を実施しました。JBFAさんが取組むこの活動には、「障がい者への理解促進」だけではなく、6つの学びがあります。

- ①障がい者への理解促進：スポーツを介して視覚障がい者と接することにより、「障がい者=特別な人」ではなく、自分と同じ「当たり前の存在」として受け止めること。
- ②チームワークの大切さ：目が見えない状態のため、積極的に仲間と支え合いながら成し遂げられた体験より実感する仲間との信頼関係の大切さ。
- ③コミュニケーションの重要性：視覚に頼らない活動から気づく、声を出すことや聞くこと、相手を思いやる気持ちなどのコミュニケーションの重要性
- ④個性の尊重：ハンディをもつことでわかる、自分の得意なことや苦手なこと、強みや弱み。そのような一人ひとりの違いや多様性を認識したうえで、さらに自分に何ができるのかを考える視点の気づき。
- ⑤チャレンジ精神の醸成：仲間に頼り、支えてもらいながらも、勇気をもって自分自身で課題を乗り越えていく気持ちの大切さ。
- ⑥ボランティア精神の育成：ボランティアは難しいことや特別なことではなく、自分の個性を生かして行えることだと気づき、積極的に人の力になろうという姿勢。



生徒の皆さんが、この体験学習を通して、それぞれが一番に、何を学んだと考えてくれたのか、楽しみです。私が一番印象に残っているのは、「相手に指示を出すとき、間違っている時や、はずれている時には、声を出して教えますが、上手くいっている時や合っている時は、黙っていることが多くなりがちになりますが、視覚障がいのある方が、状況を理解するには、合っているという情報も知りたいので、そのまま、いいですよ。合っています。など、良いこと、上手くいっていることも、言葉にして伝えることが大切です」という講師の方のお話です。これは、すべての人との間に共通することのように思います。

■清瀬五中生の活躍のご紹介

第75回 東京都公立学校美術展覧会 出展生徒

《 技術科 》

- ペン立て(2年生) 4名
- キーホルダー(2年生) 4名

《 家庭科 》

- 刺し子の巾着(3年生) 3名
- トートバック(2年生) 2名
- 衣食住新聞「衣」(1年生) 1名

《 美術 》

- ウッドシート時計(2年生) 2名
- 飾り絵皿(3年生) 3名

※家庭配布版では、氏名をご紹介しています。



3/3 “桃の節句”の夜は、「皆既月食」を見よう！

午後6：50～午後10：18【皆既状態の食最大】 午後8：34

昨年の9月8日に皆既月食がありましたが、今年度2回目の皆既月食が3月3日（火）の夜にあります。そう頻繁にあるものではないのでラッキーです。前は深夜午前2時過ぎ、3年生は修学旅行初日だったので、観測できなかった人も多いと思います。今回は、午後8時～9時頃になりますので、観測しやすい時間帯ですので、ぜひ夜空を見上げて、赤銅色の月を眺めてください。月の東側（左側）から欠け始めて、皆既後に、再び東側（左側）から明るくなってきます。



皆既月食は、何で赤銅色？

月がすっぽり、地球の影に入って、暗くなった状態を皆既状態と言いますが、真黒で見えなくなるのではなく、暗い赤銅色（しゃくどういろ）になります。その主な理由は2つありますが、中学1年理科「単元3 身の回りの現象」の「光の世界」で学んだ屈折や光の色がヒントになります。生成 AI に聞いてみるのが速いですが、身に付けた知識や技術の活用力を鍛えるためには、まずは自分で考察してから、答え合わせで聞くのが良いと思います。

★月食とはどのような現象でしょうか？ 都立入試対策で確認しておきましょう。

中学3年理科の単元4地球と宇宙で、日食や月食について学びますが、今年の都立高校入試問題に出題されるのでしょうか？ 天体系問題を見てみると、

- R7（昨年）は、自然科学系の小問題で、惑星の特徴について1問。
- R6は、大問題として、太陽の透明半球を使った太陽の日周運動について4問。
- R5は、生徒レポートからという形の小問題で、北極での太陽の動きと夏至の位置の1問。
- R4は、生徒レポートからという形の小問題で、日食について1問。
- R3は、生徒レポートからの出題という形の小問題で、星座の年周運動について1問。
- R2は、大問題として、透明半球を使った太陽の日周運動と季節について4問。でした。



NHK for School
「月食がおこるのは？」
https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?class_id=00006301274_00000



天体系の問題は、小問題で出題されることが多いようです。今年の予想としては、小問題で「太陽の黒点の観測」あたりでしょうか？ 大問題ならば、「月と金星の満ち欠け」でしょうか？ ちょうど皆既月食があるので、小問題で「月食のしくみ」というのもあるかもです。右のNHK for Schoolの1分程の動画で確認しておくとも良いかもしれません。まあ、予想は外れることの方が多いので、当てにはしないで下さいね。

理科の単元の中で、実験や観察が一番やり難いのが「天体」の単元です。理科は、五感を使って、観察・実験から得られたデータから学ぶ教科なのですが、授業時間では太陽の観察くらいしか出来ません。授業で月食や日食について3年生で学びますので、1・2年生は、ぜひ観察して、月の色の変化や、欠け方が、月の満ち欠けと違うようすなどを観察しておいてくれると、授業の時に「あ～、あれだな…」となるとと思います。

■ 3月3日の皆既月食について、詳しい情報は下記 HP 参照下さい。

国立天文台 HP

- ①ほしぞら情報 2026年3月 皆既月食 <https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2026/03-topics02.html>
- ②月食とは <https://www.nao.ac.jp/astro/basic/lunar-eclipse.html>

予告 次回の皆既月食は、3年後の2029年1月1日、年が明けてすぐの「深夜 午前0時7分」に欠け始めるといふ、稀なタイミングでの皆既月食です。初詣をしながら見るのも良いですね。次回も、楽しみです。

